
一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

第11回学術教育Webセミナー

プログラム・抄録集

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5 (株)学術社内

TEL : 03-5924-3621 FAX : 03-5924-3622

THE ART OF INSTRUMENTS

機能美



良いものだけを世界から



外科器械は「長く・良く」 **オーラス**

T 0480-93-1218 F 0480-44-8866
WWW.OLAS.CO.JP

OPEN

オンラインショップがはじまりました。
会員登録・製品のご購入はこちらから。

<https://ec.biomaterial.co.jp/>



 **0120-782-788** (受付時間：9：00～19：00（土日・祝日は除く）)



オリンパス テルモ バイオマテリアル株式会社

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

第11回学術教育Webセミナー

プログラム・抄録集

- 開催日** 2021年10月24日(日)～11月8日(月)
- 開催方式** Web方式
live 配信：2021年10月24日(日)
on demand 配信：2021年10月26日(火)～
2021年11月8日(月)
- 会場** フクラシア東京ステーション：千代田区大手町
- 主催** 一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
- 理事長** 今井 裕 (獨協医科大学名誉教授・医学部特任教授)
- 委員長** 矢郷 香 (国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科教授)
- 代表世話人** 吉田 俊一 (霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科)
- 準備委員長** 小林 大輔 (霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科)

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

〒115-0055 東京都北区赤羽西6-31-5 (株)学術社内
TEL：03-5924-3621 FAX：03-5924-3622

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

第11回学術教育 Web セミナー

【メインテーマ】

超高齢社会における歯科の在り方
ー地域包括ケアシステムにおける有病者歯科医療学会の役割ー

PROGRAM

9:00 ~ 9:15

開会のご挨拶

理事長 今井 裕 ……(5)
学術研修委員会委員長 矢郷 香 ……(6)
代表世話人・学術研修委員会委員 吉田 俊一 ……(7)

総合司会：町田市民病院歯科・口腔外科部長 小笠原健文 先生

[午前の部]

9:15 ~ 10:10

1. 「健康寿命の延伸は可能か？：オーラルフレイルの視点から」 ……(8)

講師：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
歯科口腔外科部長・研究所研究部長 平野 浩彦 先生

座長：東京大学大学院医学系研究科外科学専攻
感覚・運動機能医学講座口腔顎顔面外科学分野准教授 西條 英人 先生

10:15 ~ 11:10

2. 「フレイルと認知症の予防」 ……(10)

講師：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事長
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長特任補佐 鳥羽 研二 先生

座長：東京歯科大学口腔病態外科学講座教授 片倉 朗 先生

11:25 ~ 12:20

[共催セミナー オリンパス テルモ バイオマテリアル株式会社]

3. 「抗血栓療法下での抜歯に関する注意事項と止血方法
ー新ガイドライン 2020 年版に準じてー」 ……(12)

講師：国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科教授 矢郷 香 先生

PROGRAM

[午後の部]

《地域包括ケアシステムにおけるこれからの歯科の役割》

12:35 ~ 13:30

4. 「行政の立場から」 (14)

講師：杉並保健所歯科衛生担当課

(前 東京都福祉保健局医療政策部歯科担当課長) 三ツ木 浩 先生

座長：東京慈恵会医科大学歯科学教室教授 林 勝彦 先生

13:35 ~ 14:30

5. 「開業医としての取り組み」 (16)

講師：医療法人社団秀和会つがやす歯科医院院長 高橋 耕一 先生

座長：東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座主任教授 柴原 孝彦 先生

14:40 ~ 15:35

6. 「病院歯科としての取り組み」 (18)

講師：海老名総合病院歯科口腔外科部長 石井 良昌 先生

座長：東京女子医科大学医学部歯科口腔外科

顎口腔外科分野教授・基幹分野長 岡本 俊宏 先生

15:35 ~

閉会のご挨拶

代表世話人・学術研修委員会委員 吉田 俊一

受講について

この度は日本有病者歯科医療学会「第11回学術教育 Web セミナー」をご受講いただきありがとうございます。下記、手順に従ってご受講ください。

○ Web 配信方式

live 配信：2021 年 10 月 24 日（日）

on demand 配信：2021 年 10 月 26 日（火）～ 2021 年 11 月 8 日（月）

○ 第11回学術教育 Web セミナー配信ページ

マイページログイン URL <https://gakujyutsusha.jp/jjmcp11/cgi-bin/showMovie.cgi>

○ ログインパスワード 別途ご登録メールへお知らせいたします

■ログイン・視聴方法

1. サイトにアクセスしてください <https://gakujyutsusha.jp/jjmcp11/cgi-bin/showMovie.cgi>
2. パスワード入力画面が開きますので、メールにてお知らせしたパスワードをご入力いただき「ログイン」をクリックして配信ページにお入りください。
3. 配信ページの各プログラムをクリックすると配信が始まります。各プログラムは独立しておりますので個別に視聴することが可能です。また、期間内であれば繰り返し視聴することも可能です。

■ご注意

1. 配信期間以外は視聴できません。期間内に受講を終了するようにご計画ください。
2. 必ずお知らせしたパスワードでログインし、登録者以外の方がご使用にならないようご注意ください。
3. 通信環境、使用される機器の不具合等による視聴不能については責任を負いかねます。
4. 映像、講演内容、使用されている画像・図表等には著作権が存在します。無断複製、転載、改変、配布、販売を固く禁じます。
5. その他、第11回学術教育 Web セミナー配信ページの注意事項をお読みの上ご受講ください。

ご挨拶

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

理事長 今 井 裕

(獨協医科大学名誉教授・医学部特任教授)



昨年来 COVID-19 パンデミックにより先の見えない状況が続いておりますが、先生方におかれましては各方面においてご尽力されておられますこと、心より敬意を払うとともに感謝申し上げます。

さて、第 11 回学術教育セミナーを開催するに当たり一言ご挨拶を申し上げます。はじめに、ご多忙にも関わらず講師を快く引き受けていただきました先生方に厚くお礼を申し上げます。また、コロナ禍という未曾有の社会環境のなかで、本年は去年の経験を基に WEB によるリアルタイム＋録画配信方式での開催となりました。講師の先生方には大変なご迷惑をお掛けしますこと深くお詫び申し上げますとともに、衷心より感謝申し上げます。

わが国は現在、高齢人口の急速な増加のなかで、医療、福祉など増加する高齢人口の問題に対応することが、喫緊の課題となっています。このような超高齢社会が進むなか、従来の医療制度では対応しきれない問題が生じ、高齢者の医療は若年者の医療と異なった立場で取り組む必要性が生じたことより、国は新たな医療システム（地域包括ケアシステム）の構築を進めていることはご承知のとおりです。当然のことながら、歯科医療においても有病歯科患者の増加や歯科疾病構造の変化等、課題は複合化し、一診療所完結型歯科医療から専門分野を越えた医療と融合した歯科医療が求められ、ことさら多職種医療連携の重要性に対する認識が高まっています。

そこで、今回のセミナーはこのような状況を鑑み、メインテーマを超高齢社会における歯科の在り方—地域包括ケアシステムにおける有病者歯科医療学会の役割—とし、現在この領域の第一線でご活躍の先生方からそれぞれのお立場からご講演賜ります。社会構造が変化するなか、国が進める医療と介護が一体化した新たなシステムのなかで歯科医療が果たすべき役割を知り、われわれ歯科医療従事者がそれぞれの立場から適切な歯科医療を提供することを目途に企画いたしました。受講されます先生方におかれましては、この点を是非ご理解いただき、講師の先生方とご協力のうえ実りある研修会にさせていただきますよう心よりお願い申し上げます。

末尾にあたりまして、学術研修委員会の先生方におかれましては、素晴らしい企画とそうそうたる講師の先生方をお招きいただき有難うございました。また、この厳しい社会情勢のなか、新たな試みでの開催運営など大変なご苦勞をお掛けしましたこと、この紙面をお借りし改めてお礼申し上げます。そして、何よりも本教育セミナーが、会員の先生方にとり少しでもお役に立ち、国民の歯科・口腔医療に貢献することを祈念し、ご挨拶にかえさせていただきます。

2021 年 9 月 2 年目のコロナ禍に記す

ご挨拶

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
学術研修委員会委員長 矢 郷 香
(国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科教授)



第11回学術教育セミナーを2021年10月24日(日)に開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。未だ、新型コロナウイルス感染のリスクがあるため、霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科吉田俊一先生が代表世話人で、Web方式(live配信とon demand配信約2週間)で開催致します。今回は、当日live配信も行い、質疑応答ができるように致しました。

メインテーマは、「超高齢社会における歯科の在り方ー地域包括ケアシステムにおける有病者歯科医療学会の役割ー」です。2020年の厚生労働省の調査によると、日本の男性の平均余命は81.4歳、女性は87.5歳で、男性は8年連続、女性は7年連続で過去最高を更新しています。一方、「心身ともに自立し、健康的に生活できる期間」健康寿命に関しては、WHOの発表(2019年)によると、日本は、男性72.6歳、女性75.5歳で世界第1位と最も長いですが、平均余命と健康寿命に約10年もの差があります。認知症などの疾患や怪我などで自立した生活を送れなくなり、介護状態になってしまった場合、歯科受診も困難となります。その際、歯科医師や歯科衛生士は、どのように対応すればいいのか？特に高齢者の医療に関しては、行政や医療機関など地域での連携が重要となり、地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を考えておく必要があります。

午前は、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長の平野浩彦先生に、「健康寿命の延伸は可能か？：オーラルフレイルの視点から」また、理事長の鳥羽研二先生に「フレイルと認知症の予防」についてご講演いただきます。

午後からは、「地域包括ケアシステムにおけるこれからの歯科の役割」に関して、行政の立場から杉並保健所歯科衛生担当課 三ツ木 浩先生に、具体的にどのように取り組まれているのかについて、開業医での対応を高橋耕一先生に、病院歯科での対応を本学会理事であられる石井良昌先生ご講演いただきます。必ずや、皆様の明日からの臨床にお役に立つことと信じております。

2020年に日本有病者歯科医療学会では栗田 浩先生が中心となり、抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドラインを改訂しています。超高齢社会となり抗血栓薬を服用している患者の歯科受診も増えているので、共催セミナー(オリンパステルモバイオマテリアル株式会社)は、新ガイドラインに準じた「抗血栓療法下での抜歯に関する注意事項と止血方法」について、私が講演させていただきます。

最後に、本セミナー開催にあたり多々ご尽力をいただきました吉田俊一先生はじめ、ご高配、ご協力を賜りました関係者各位に心から御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症が1日も早く終息することを祈念致します。

ご挨拶

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会

代表世話人・学術研修委員会委員 吉 田 俊 一

(霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科部長)



第11回学術教育セミナーを開催するにあたり、今回の世話人としてご挨拶を申し上げます。今年も昨年と同様に COVID-19 の感染状況を鑑み Web 開催としましたが、セミナーが開催される10月ごろにはワクチン接種がいきなり、収束のめどが立っていることを祈念してやみません。さて、物事には予測するのが困難なことで、データなどを分析することである程度の精度で予測できることがあると思います。昨今世界中に混乱をもたらしている COVID-19 の感染拡大は、予測することは困難であり当然備えや有効な対策といっても難しいものがあります。その一方で、高齢社会の到来はずいぶん前から予測されていたことで、今後は加速度的に超高齢社会へと進んでいくことは、日本における不都合な真実として認識しなければならないことであると思います。どの分野でもそうですが、われわれ歯科領域としても社会の変化を予測して、それに対応すべく準備することが重要です。そのような考えを基に今回のテーマを、「超高齢社会における歯科の在り方」とさせていただきました。

セミナー午前の部では、おもに高齢者の身体的側面からお二人の先生にご登壇をお願いしております。平野先生には口腔という視点からオーラルフレイルと健康寿命について、鳥羽先生には全身的な視点から認知症やフレイルについてご講演を頂く予定です。

午後の部は、超高齢社会の社会的側面から立場の違う3人の先生のご登壇を予定しております。現在厚生労働省が推進する地域包括ケアシステムの基本的な概念は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進するというもので、超高齢社会の核となる政策です。われわれ歯科医としてこのなかでこういった役割を担えるのか、今後こういったことに取り組むべきなのか、行政と開業医、病院歯科と違った視点からご講演をお願いしております。三ツ木先生、高橋先生、石井先生とともに実際にそれぞれの現場で活躍している先生方なので、今後歯科として進むべき方向のヒントになるのではと思います。

今回の企画が、ご参加いただいた皆様の明日からの診療の一助となれば非常にうれしく思います。最後に、本セミナー開催にあたりご助言、ご協力をいただきました理事長の今井先生、学術研修委員長の矢郷先生、学術研修委員の先生方、関係者各位に衷心より御礼申し上げます。

健康寿命の延伸は可能か？： オーラルフレイルの視点から



地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター
歯科口腔外科部長・研究所研究部長

平野 浩彦

日本人の平均寿命は延び世界に冠たる長寿国家となり、長寿だけでなく、いかに元気に長生きするかに注目が集まり「健康寿命」が高齢者保健事業に関する議論のキーワードとなった。健康寿命を延ばすためには、「病気の早期発見・早期治療」だけでなく、「老年症候群（危険な老化のサイン）の早期発見・早期対処」が重要視され、介護予防という形でその対策が広く実施されてきた。さらに最近では、「ささいな身体のトラブルの連鎖」を「フレイル」として提唱し広く議論されている。さらにフレイルへの対策は、従来の事業との整合性をとりつつ「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」の策定が行われた（厚生労働省）。このなかで、75歳を境に保険者・事業内容が異なるなどの課題に対し、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」として、2020年4月より取り組むべき点が示されるなど、高齢者関連事業の変曲点を迎つつある。

高齢者の口に目を向けると、現代の高齢者は自分の歯を多く残し「8020運動」達成者は5割を超えた（2016年調査）。こういったなか高齢者の快適な食を支えるためには、歯の本数の維持に加え“口の働き（口腔機能）のささいな衰えの連鎖”を軽視しないことの重要性が注目され、「オーラルフレイル」が概念として提案された。日本歯科医師会によって「歯科診療所におけるオーラルフレイル対応マニュアル2019年版」が作成された。本マニュアルのなかでオーラルフレイルは、「口に関する“ささいな衰え”が軽視されないように、口腔機能低下、食べる機能の低下、さらには、心身の機能低下までつながる“負の連鎖”に警鐘を鳴らした概念」として説明されている。

平成30年度診療報酬改定において、医療保険病名として口腔機能低下症が採用され、その診断に資する検査として、咀嚼能力検査、咬合圧検査および舌圧検査といった口腔機能評価に関する検査が新規導入された。口腔機能低下症は、オーラルフレイルの概念の1つのフェーズとして位置付けられ、口腔機能低下症の診断基準は、7つの下位症状（口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下）のうち、3項目以上該当するケースとされた。

これらの流れは高齢者における歯科・口腔に関連した事業の1つの変曲点と言えるのではないだろうか。当日は、オーラルフレイル概念とその意義、さらには展望について、ご参加いただく皆様と理解を深めることができれば幸いである。

Profile

[略 歴]

日本大学松戸歯学部卒業 医学博士

平成 2 年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科 研修医

平成 3 年 国立東京第二病院 口腔外科 研修医

平成 4 年 東京都老人医療センター 歯科口腔外科主事

平成 14 年 同センター医長

(東京都老人医療センター・東京都老人総合研究所の組織編成により
東京都健康長寿医療センターへ名称変更)

平成 21 年 東京都健康長寿医療センター研究所 専門副部長

平成 28 年 東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科 部長

平成 31 年～ 現 職

東京都健康長寿医療センター

病院歯科口腔外科部長

研究所自立促進と精神保健研究チーム研究部長

[所属学会 / 役職]

日本老年学会 理事

日本サルコペニア・フレイル学会 理事

日本老年歯科医学会 理事・専門医・指導医・摂食機能療法専門歯科医師

日本老年医学会 代議員

日本大学 客員教授

東京歯科大学 非常勤講師

昭和大学歯学部 非常勤講師

フレイルと認知症の予防



地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事長
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長特任補佐

鳥 羽 研 二

世界最長寿国である日本で、人生の後半を生き抜くには、
弱者が寝たきりにならぬよう、心身の健康を保って、
長寿を実現することが大切

フレイルと認知症の共通のメカニズム（加齢、生活習慣病、感覚器疾患、栄養、炎症、鬱）
に着目して研究してきた 25 年間のデータを紹介したい。

要点は

- 1) 70 歳まで重要な脳血管障害, 80 歳以降重要な認知症,
転倒骨折, 虚弱 (フレイル) 対策 (女性が 2 倍以上多い疾患)
- 2) フレイルと認知症の危険因子は驚くほど共通項が多い
- 3) フレイルと認知機能低下は悪循環を形成する
- 4) 食事は, 日本食 (地中海食) など, 多くの食品をバランスよく, 肉も忘れずに,
酒はほどほどに
- 5) 運動は
高血圧 (-10mmhg), 糖尿病 (インスリンが働く), 骨量増加
認知症予防 (記憶保持, 脳萎縮低減)
転倒予防 (-30 ~ -40%)
加齢筋肉減少症予防 (筋肉量, 筋力増加)
うつ, 交流に好影響 仲間と定期的に (週 1 ~ 2 回), 継続的に運動することは
活力度の向上, 維持に役立つ

以上から, すべての臨床家がフレイル, 認知症予防に参画する時代が来ている。

Profile

[略 歴]

最終大学) 東京大学医学部 卒業
東京大学医学部附属病院 医員
東京大学医学部 助教授
テネシー大学生理学研究員
フリンドース大学老年医学研究員
東京大学医学部 助教授
杏林大学医学部高齢医学 主任教授, もの忘れセンター長
国立長寿医療研究センター 病院長
同センター 理事長・総長
同センター 理事長特任補佐
東京都健康長寿医療センター 理事長

[社会活動：所属学会 / 役職]

日本老年医学会 名誉会員
日本認知症学会 名誉会員
日本メンズヘルス医学会 理事
全国老人保健施設協会 理事
日本内科学会 認定医・指導医
日本慢性期医療協会 参与
内閣官房「社会保障制度改革推進本部 医療・介護情報の活用による改革の推進に関する
専門調査会」委員
内閣官房「健康・医療戦略推進専門調査会」委員

抗血栓療法下での抜歯に関する 注意事項と止血方法 ー新ガイドライン 2020 年版に準じてー



国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科教授 矢 郷 香

超高齢社会の本邦において脳卒中や心房細動患者が増加し、抗血栓薬を服用している患者の歯科治療を行う機会も多い。ワルファリンの他に直接作用型経口抗凝固薬（Direct Oral Anti Coagulants：DOAC）が承認され、新たな抗血小板薬も処方されているので、認知しておく必要がある。

直接トロンビン阻害薬（ダビガトラン）や第Ⅹa 因子阻害薬（リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン）の DOAC は、直接的に凝固因子を阻害し、トロンビンの生成を抑制し速やかに抗凝固作用を発揮する。ワルファリンと比較し半減期が短く、休止すると速やかに作用が消退するので、抜歯時中断した場合、血栓塞栓症発症のリスクがある。また、薬物との相互作用が少なく、抗凝固作用が食事の影響を受けず安定しているので、ワルファリン療法患者での PT-INR の様な薬理効果のモニターは不要であるとされているが、抜歯時の出血を予測する有効なモニタリング方法が確立されていない。

抜歯時、抗血栓薬中断により脳梗塞や心筋梗塞など重篤な合併症を起こすリスクがあることから、日本有病者歯科医療学会他 2 学会で、2010 年に「科学的根拠に基づく抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドライン」が作成された。2015 年改訂版でも、ワルファリンやアスピリンと同様に、DOAC も継続したまま抜歯を行うことを推奨している。2020 年改訂版では、GRADE アプローチによる最新のエビデンスによる推奨がされている。

ワルファリンの場合は、PT-INR 値が 3 以下であれば、重篤な出血性合併症の可能性は少なく、継続下での抜歯が可能とされている。しかし、PT-INR が低値でも抜歯時の止血に難渋することもある。また、ワルファリンは多くの薬剤と相互作用があり、抜歯後に処方する抗菌薬や鎮痛剤により後出血を来すこともある。DOAC に関しては、抜歯時の適切なモニタリング方法がないため、注意すべき重要な点があり、DOAC の特徴について熟知しておくべきである。

抗血栓薬継続下で抜歯する場合には、抜歯窩に局所止血材を填入し、縫合するなど適切な局所止血処置が重要である。また、万が一、局所止血処置で止血しない場合には、医師と連携し、全身的な止血処置が必要となる。

本講演では、新しい抗血栓薬も多数市上されているので抗血栓薬の種類、ガイドライン 2020 年版に準じた抜歯時の対応、適切な局所止血方法、局所止血で止血困難な場合の対応、医師との連携などについて解説する。

Profile

[略 歴]

1986 年 東京歯科大学卒業
1986 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室入局
1996 年 歯学博士取得（東京歯科大学・口腔外科）
2010 年 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室専任講師
2011 年 国際医療福祉大学三田病院 歯科口腔外科部長，准教授
慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室 非常勤講師
2017 年 国際医療福祉大学 医学部 歯科口腔外科准教授
2021 年 国際医療福祉大学三田病院 歯科口腔外科教授
現在に至る

[資格・社会活動]

日本口腔外科学会 代議員・指導医・専門医
日本有病者歯科医療学会 常任理事・代議員・指導医・専門医
日本小児口腔外科学会 理事・評議員・指導医・認定医
日本顎顔面インプラント学会 理事・指導医・専門医
日本口腔ケア学会 評議員
国際歯科医療安全機構 理事

[著 書]

- ・患者に聞かれても困らない歯科医師のための「薬」飲み合わせ完全マニュアル，クインテッセンス出版，2019 年（共著）
 - ・薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 MRONJ・BRONJ ー最新 米国口腔顎顔面外科学会と本邦の予防・診断・治療の指針ー，クインテッセンス出版，2016 年（共著）
 - ・そのままつかえる照会状の書き方，クインテッセンス出版，2013 年（共著）
 - ・これならわかるビスフォスフォネートと抗血栓薬投与患者への対応，クインテッセンス出版，2011 年（共著）
- 他

地域包括ケアシステムにおける これからの歯科の役割 行政の立場から



杉並保健所歯科衛生担当課
(前 東京都福祉保健局医療政策部歯科担当課長) **三ツ木 浩**

厚生労働省は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの構築実現の目途を 2025 年（令和 7 年）としている。地域包括ケアシステム構築の根拠として、諸外国に例を見ない我が国の高齢化の進行、高齢者人口は、2042 年の約 3,900 万人でピークを迎えるが、その後も、75 歳以上の人口割合は増加し続けることが予想される事とし、このような状況のなか、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年（令和 7 年）を実現の目途においている。

また、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じており、地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要としている。地方自治体に勤務するものとしては、その責任をこの一言で勝手に担わされたような気になるが、生活の実態が地域にある以上、その実現に向け取組んでいかねばならない。

地域包括ケアシステム構築の実現目途とされた 2025 年（令和 7 年）まで、3 年半となっている。時間はあるようでないのが現実で、各自治体においても体制構築に向け準備を進めているところである。そこで、歯科保健医療に求められることは何か？そう問われたとき、まず、思い浮かぶのは在宅歯科医療ではないだろうか。しかし、在宅・通院を問わず、かかりつけ歯科医としての機能、医療・介護の連携の推進など期待される役割は多岐にわたっている。

東京都は、平成 30 年 3 月に策定した東京都歯科保健推進計画では、ライフステージを通じた歯科保健対策のなかで高齢期における口腔機能の維持をかかりつけ歯科医機能の定着の 1 つとして医療介護の連携を在宅療養者の QOL を支える歯科医療体制の推進では歯科医師の確保と育成を挙げ、高齢期の歯科保健対策の推進を図っている。

今回の第 11 回学術教育セミナーのメインテーマは、「超高齢社会における歯科の在り方ー地域包括ケアシステムにおける有病者歯科医療学会の役割ー」となっている。在宅療養高齢者のほぼすべては何らかの基礎疾患を有していると考えて間違えはないだろう。このような状況のなかで歯科保健医療に求められる役割は何か？行政が考える役割、地域歯科保健医療に期待すること、そして行政が行うべき支援は何か考えてみたい。

Profile

[略 歴]

最終大学・大学卒業後（職歴を含む）

平成 2 年 3 月 明海大学歯学部卒業

平成 2 年 5 月 慶應義塾大学病院研修医（歯科口腔外科）

平成 4 年 5 月 慶應義塾大学医学部助手（歯科口腔外科学教室）

平成 5 年 7 月 国立栃木病院出向

平成 7 年 7 月 慶應義塾大学医学部助手（歯科口腔外科学教室）

平成 7 年 12 月 杉並東保健所

平成 11 年 4 月 杉並保健所

平成 18 年 4 月 江東区保健所

平成 23 年 4 月 東京都南多摩保健所

平成 26 年 4 月 東京都教育庁 地域教育支援部

平成 29 年 4 月 東京都福祉保健局 医療政策部

令和 2 年 4 月 杉並保健所（現職）

地域包括ケアシステムにおける これからの歯科の役割 開業医としての取り組み



医療法人社団秀和会つがやす歯科医院院長 高橋 耕一

当院は、梅安秀樹前理事長が1979年に北海道帯広市に開院し、「いつまでもおいしく食べることを生活支援する歯科医療を目指す」を医院理念に掲げ、今年で42年目を迎えました。

歯科医療機関の受診者数は65～69歳をピークに75歳以後は急速に減少することが報告されています。その理由は、加齢や種々の疾病の罹患による身体機能の低下のために歯科医療機関への通院が困難となるためと考えられます。当院は、歯科医療機関への通院が困難になった要介護高齢者などに対しては歯科訪問診療で対応することにより、歯科治療が必要な若年者から超高齢者にいたるすべての年代の口腔健康管理を行いたいと考えています。

そのために、当院は外来診療のほかに歯科訪問診療も積極的に行っており、2011～2019年の間の当院の新患症例数（再新患を除く）は、外来診療が10,014例、訪問診療が6,303例でした。外来診療症例は64歳以下が8,208例（82.0%）を占めており、90歳以上の超高齢者は43例（0.4%）と少数でしたが、訪問診療症例では65歳以上の高齢者と90歳以上の超高齢者がそれぞれ5,453例（91.3%）、1,645例（26.1%）を占めていました。当院の外来診療と訪問診療症例の年齢構成は、「通院できる患者は外来診療」で、「加齢などで通院できなくなったら歯科訪問診療」で口腔健康管理行う体制を示していると思います。

他方、同期間に当院が訪問診療を施行し医療・介護施設の種類（施設数）と新患症例数は、特養（20施設）1,742例、病院（10施設）1,484例、老健（6施設）1,082例、グループホーム（45施設）767例、有料老人ホーム（10施設）492例、サービス付高齢者住宅（9施設）135例、その他の施設（24施設）114例であり、居宅への訪問診療症例は487例でした。歯科訪問診療を円滑に行うためには、医師、看護師あるいは管理栄養士などの医療・介護施設の職員と、また、居宅への訪問診療では居宅介護支援事業所などの職員との多職種連携が必須です。緊密な多職種連携を行うために、特に特養や老健に対しては、研修会や症例の検討会なども定期的に行っています。

当院では今後も、地域の若年者から超高齢者のすべての年代の患者に対する包括的な歯科医療および介護の構築を目指していきたいと考えています。

Profile

[略 歴]

2002 年 北海道医療大学歯学部 卒業
2002 年 つがやす歯科医院（帯広市）入社
2011 年 北海道医療大学大学院歯学研究科（口腔病理学）修了
2020 年 つがやす歯科医院 院長

[所属学会]

日本口腔インプラント学会
日本歯科心身医学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会
日本老年歯科医学会
日本障害者歯科学会

地域包括ケアシステムにおける これからの歯科の役割 病院歯科としての取り組み



海老名総合病院歯科口腔外科部長 石井良昌

病院歯科の役割は、歯科疾患医療、歯科口腔外科疾患医療・手術、有病者歯科医療、障害者歯科医療、摂食嚥下など口腔リハビリテーション医療、周術期等口腔機能管理、地域診療所の後方支援など多岐にわたるが、各施設の人材、専門性、設備、地域性などにより異なった特色を有している。そのなかで、医学的に何らかの配慮が必要な有病者歯科患者に多職種連携のもと安全で適切な歯科医療を提供することに病院歯科は適した環境である。しかし2017年医療施設統計によれば病院8,412施設のうち病院歯科1,095施設と13%にしか設置されていない。さらに高齢化が進み有病者・要支援や要介護者に対する歯科医療が訪問歯科診療にパラダイムシフトしていきなかで、かかりつけ歯科医師として要介護状態有病者の歯科診療機会も増えるため地域歯科医師会のスキルアップ、すなわち一次診療圏での地域力向上が求められている。また病院歯科の専門性によってその地域で対応できない症例は二次から二次、二次から三次へと水平・垂直展開する病病歯科連携、二次診療圏までの地域力も重要である。

演者は海老名市歯科医師会理事として、当院の歯科登録医制度を活用したOJT、口腔がん健診スキルアップセミナー開催、IOTを活用した症例相談、IOTを活用した訪問歯科診療における食支援相談、オーラルフレイル通信、地域歯科医師会理事としての活動、など協働し地域力向上の取り組みとして行ってきた。

そのなかで地域包括システムにおける歯科の大切な役割は「食べる」につながる歯科医療を最期まで歯科医療職がワンチームで提供することであるが、すべての地域歯科医療施設が訪問歯科診療を行える体制ではないためまだまだ不十分である。そこで病院歯科がハブとなりシームレスな多施設診療に移行できるロジックを地域歯科医師会と検討しつつ、安全な訪問歯科診療のためのOJTの場を提供していきたい。

また患者教育として地域高齢者だけではなく、若年層にも「えびな全世代型食支援によるまちづくり」を展開し、要介護の病因の1つである生活習慣病（NCDs; Non-communicable diseases）の0次予防、1次予防として歯科医療の重要性を啓発していき、SDGsに貢献していきたい。

Profile

[略 歴]

1990 年 3 月 日本歯科大学歯学部 卒業
1990 年 4 月 東京医科歯科大学第二口腔外科 入局
2001 年 4 月 海老名総合病院 歯科口腔外科 医長
2008 年 6 月 海老名総合病院 歯科口腔外科 部長

[主な社会活動]

日本歯科大学生命歯学部 客員教授
鶴見大学歯学部 非常勤講師
日本有病者歯科医療学会 理事
日本臨床栄養代謝学会 理事・代議員
日本口腔外科学会 代議員
日本顎顔面インプラント学会 運営審議委員
日本病院歯科・口腔外科協議会 理事
日本リハビリテーション栄養学会 学術評議委員
日本口腔リハビリテーション学会 代議員
PDN 理事
日本アジア健康科学支援機構 理事
海老名市歯科医師会 オーラルフレイル・在宅介護担当理事
神奈川県歯科医師会 神奈川県 HIV 歯科診療体制運営検討委員会 委員
日本病院会 栄養管理委員会 委員
日本老年歯科医学会 社会保険委員会 委員
日本口腔検査学会 広報委員会 委員
神奈川摂食嚥下リハビリテーション研究会 会長

[資 格]

歯学博士
日本口腔外科学会 専門医
日本有病者歯科医療学会 指導医
日本静脈経腸栄養学会 認定歯科医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
日本サルコペニア・フレイル学会認定指導士
The International Congress of Oral Implantologists (ICOI) FELLOW
ICD 制度協議会認定 Infection Control Doctor (ICD)

第11回 学術教育 Web セミナー プログラム・抄録集

2021 年 10 月 24 日

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会 事務局
〒115-0055 東京都北区赤羽西 6-31-5 (株)学術社内
TEL：03-5924-3621 FAX：03-5924-3622

※無断転載，複製を禁止します

一般社団法人 日本有病者歯科医療学会
第11回学術教育 Web セミナー

ご協賛企業

オーラス

株式会社大塚製薬工場

オリンパス テルモ バイオマテリアル株式会社

ササキ株式会社

株式会社ツムラ

株式会社ブライダル

ワシエスメディカル株式会社

50 音順

Clarishield

クリアな透明感に、反射性、防曇性にも優れた
クラリシールド。

超軽量で快適な掛け心地を実現しました。

抜群の透明感

超透明フィルムの採用で、クリアな視界が確保できます。

高い防曇性

特殊加工で曇りに強いので、マスクの上から使用してでも快適です。

超低反射

反射しにくいため、照明による映り込みがなく、目が疲れにくいです。

掛け心地よいフレーム

チタンフレームで、長時間の使用でも快適な掛け心地です。眼鏡との併用も可能です。



ALL ON 4 CLINIC インプラント専門医
橋村吾郎 院長も推薦！

クラリシールドは
優れた感染対策効果を発揮します。

[標準価格]

■クラリシールド チタンフレーム…ブルー、ピンクパープル、シルバー、グリーン 各色¥5,900(税別)/1本 ■クラリシールド 交換用シールド 50枚入り…¥10,000(税別)/1パック

医療従事者の感染対策

Isolation Gown アイソレーションガウン アシスタントパック

ガウン、マスク、キャップの低価格セット。滅菌加工を施し、軽くて快適です。

滅菌
済み



首後ろにマジックテープを採用。
素早く簡単に着用できます。

10セット入りの少量包装です。

小手術や処置など
幅広く使用いただけます。

ガウン：フリーサイズ [標準価格] 3,600円(税別)/10セット

医薬部外品



お口のトータルケアに

ヒノーラ[®] 薬用ハミガキ 口腔ケア用ジェル

抗菌・抗炎症成分配合



販売名
大塚口腔ジェルN

販売名
大塚口腔ジェルS

容量 25g

特徴

抗菌成分
ヒノキチオール
+
殺菌成分
IPMP[®]
配合

抗炎症
成分
グリチルリチン酸
ジカリウム配合

研磨剤
発泡剤
エタノール
不使用

※インプロビルメチルフェノール

効能・効果

- ・歯肉炎の予防
- ・歯周炎（歯槽膿漏）の予防
- ・むし歯の発生及び進行の予防
- ・口臭の防止
- ・口中を爽快にする
- ・口中を浄化する



お口にうるおいを与える

ヒノーラ[®] うるおいジェル

口腔化粧品



販売名
大塚口腔ジェルWN

販売名
大塚口腔ジェルWS

容量 80g

特徴

うるおい成分
ヒアルロン酸ナトリウム
+
コラーゲン[®]
配合

適度な
粘度

研磨剤
発泡剤
エタノール
不使用

※加水分解コラーゲン

製造販売元
日本ゼトック株式会社
東京都新宿区西新宿1-26-2

発売元
イーエヌ大塚製薬株式会社
岩手県花巻市二枚橋第4地割3-5
Otsuka

販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

販売提携
株式会社大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

お問い合わせ先
イーエヌ大塚製薬株式会社 コールセンター
0120-014-010

＜'20.08作成＞

ケア&コミュニケーションで
歯科医療の未来と健やかな笑顔を支える。

札幌支店	厚木支店
旭川支店	木府支店
函館支店	松本支店
青森支店	長野支店
八戸支店	沼津支店
盛岡支店	静岡支店
秋田支店	浜松支店
仙台支店	豊橋支店
郡山支店	岡崎支店
山形支店	名古屋支店
新潟支店	名古屋駅前支店
長岡支店	一宮支店
東京支店	岐阜支店
本郷支店	津支店
池袋支店	四日市支店
東京北支店	大阪支店
八王子支店	高槻支店
埼玉支店	堺支店
千葉支店	神戸支店
柏支店	姫路支店
高崎支店	福岡支店
川崎支店	熊本支店
横浜支店	鹿児島営業所

健康の大切さが叫ばれる今こそ、クオリティの高さが求められる医療の現場。

SASAKI は医療環境の充実に少しでもお役に立てるよう、

みなさまとのパートナーシップをさらに深く、広く、力強いものにできるよう「Care & Communication」の精神で、よりいっそうハイレベルな製品・サービスのご提供につなげ努力を続けてまいります。

漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、

生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした

漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。

そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】0120-329-970 【患者様・一般のお客様】0120-329-930

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日は除く）

ご家族に祝福される結婚を! ♡ Bridal

ブライダルではご家族の皆様にも
祝福される結婚をご提案しています。

価値観が同じなら大抵の事はうまく行くもの。結婚にはベースが同じである事は大事な事です。簡単にご家族のプロフィールも作成します。育ったご家庭の環境も大事な要素のひとつ。双方のご家族のバランスも考えてご紹介いたします。



43年の実績

この冊子を見たとおっしゃってくだされば、
特別優待価格でご案内いたします。

※特典の対象は日本有病者歯科医療学会の会員様に限らせていただきます。

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

詳しくはホームページをご覧ください。

(株)ブライダル

検索



ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>



1978年創業
株式会社

ブライダル

東京本社
名古屋本社

〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F